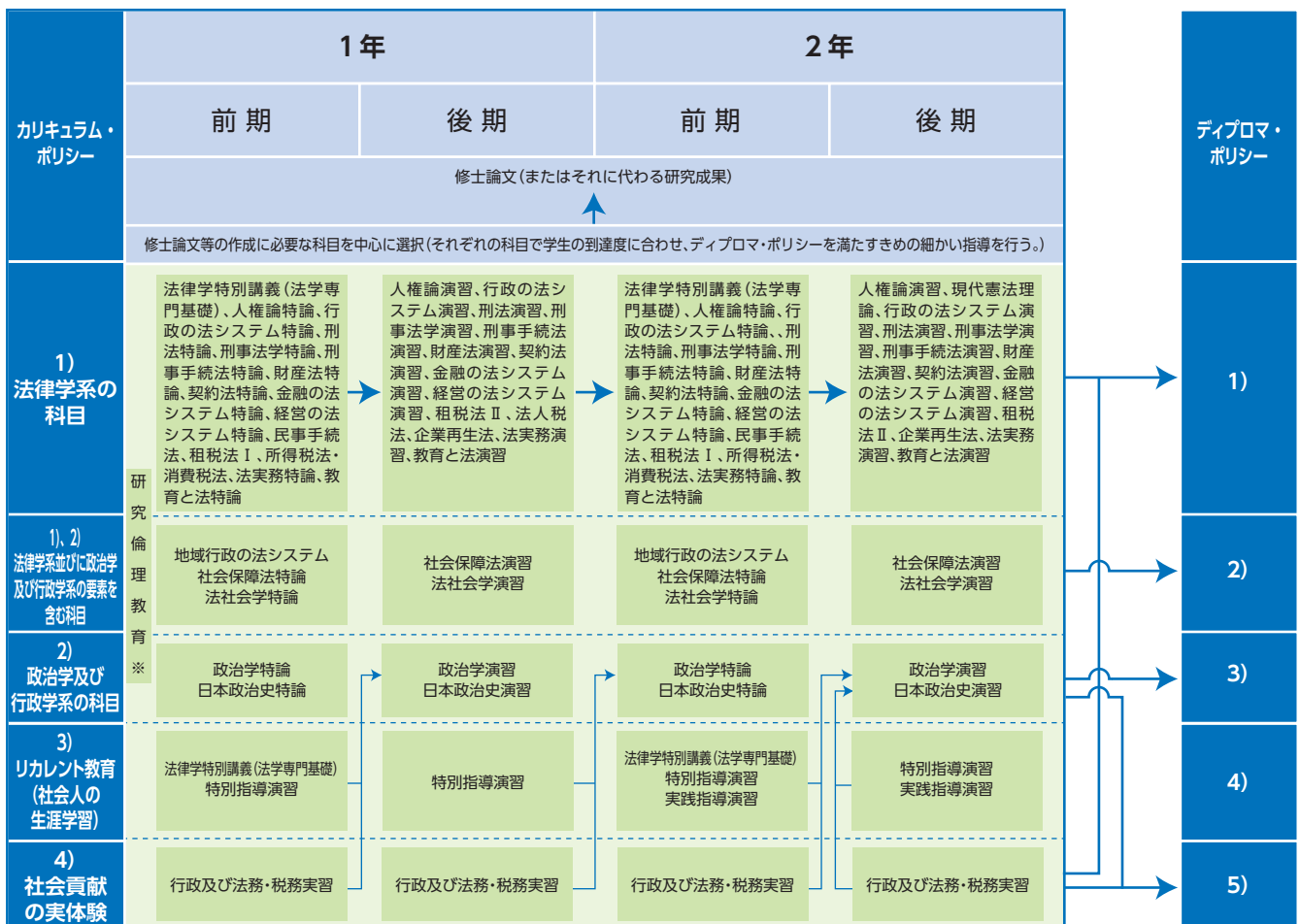


専攻カリキュラム・ポリシー	対応する研究科CP
1) 法解釈能力、紛争処理能力、法交渉能力を養成するため、法学系の科目を配置する。	1①
2) 日本内外の政治・行政に関する専門的知識を提供し、政策の分析・立案能力、実証的な資料分析の技能を養成するため、政治学並びに行政学系の科目を配置する。	1①
3) リカレント教育（社会人の生涯学習）を重視し、社会人学生に十分な個別研究指導の機会を提供するため、専門職業人養成コースと実践教養コースを設けて、「特別指導演習」「実践指導演習」等の科目を配置する。	1②
4) 社会貢献の実体験を通じてキャリア（人生設計）意識を涵養するため、地方公共団体・企業との連携によるインターンシップ科目を配置する。	1②

専攻ディプロマ・ポリシー	対応する研究科DP
1) 法学・政治学の高度な専門的知識、基礎的な研究実施能力を有している。	1)
2) 現代社会の法的・政策的課題について、調査・分析する能力、及び、政策立案や制度設計を行う等実践的解決能力を有している。	1)
3) 外国の法律・政治に関する深い知識と理解、異文化と向き合える国際感覚を有している。	2)
4) 法律・行政の理論研究（講義・演習）、及び地方公共団体・企業と連携した実習科目（インターンシップ）等を通じてキャリア（人生設計）意識を高め、地域・社会に貢献する高度な能力を有している。	2)
5) 個別の研究指導を踏まえた修士論文の執筆により、専門的かつ高度な独創性を有している。実践教養コースの社会人学生は、修士論文に代わる実践的な研究成果の提出により、専門性を有している。	2)

カリキュラム・マップ

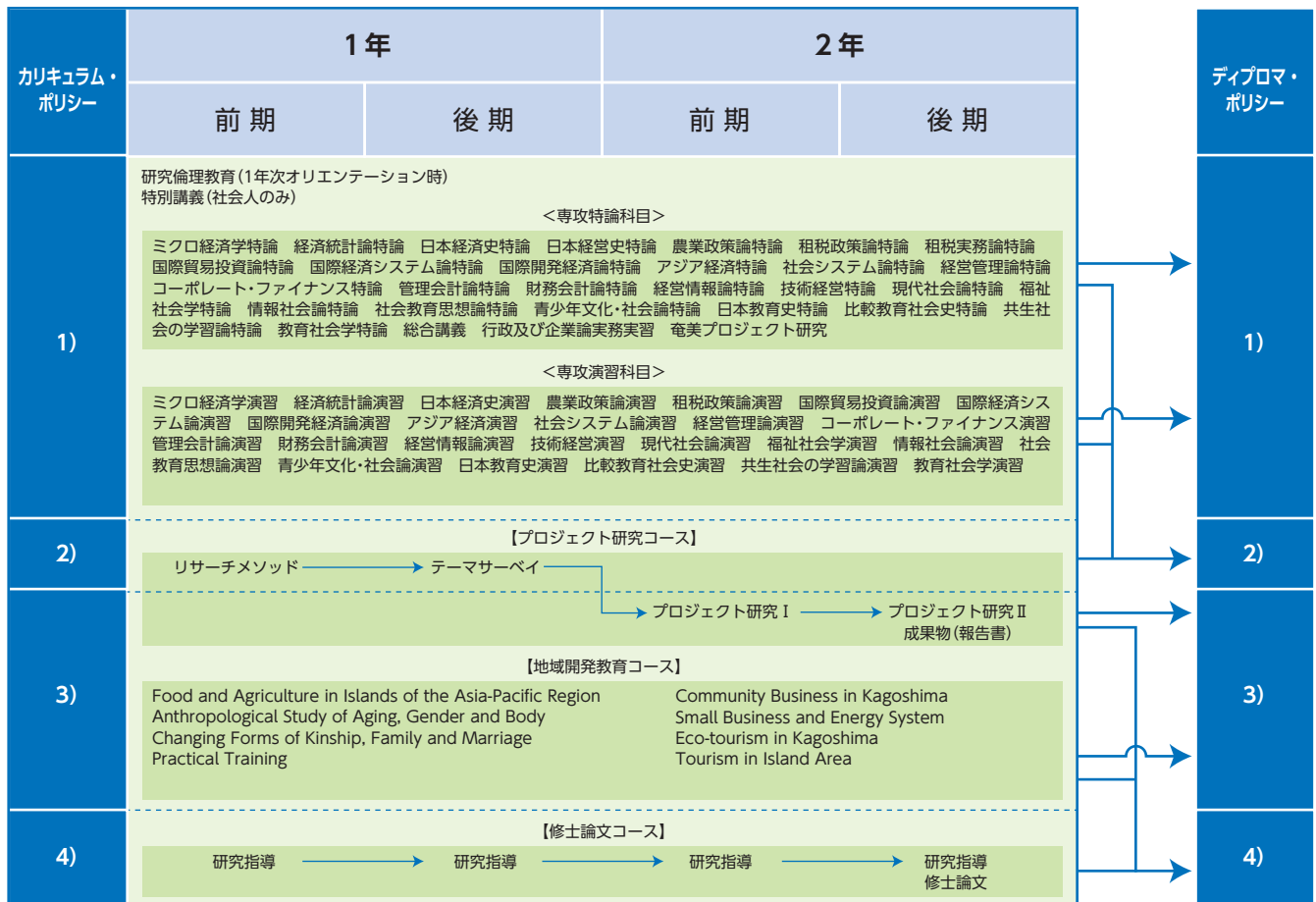


※研究倫理教育 新入生オリエンテーション時

専攻カリキュラム・ポリシー	対応する研究科CP
1) 本専攻のもつ広い専門分野を反映し、学際的分野も研究できる演習・講義等を開設する。	1 ①
2) 社会人学生には、修士論文による教育コースには社会人特別講義を開設し、その拡充をはかる。修士論文によらない教育コースではケーススタディ研究の質を高める。	1 ②
3) 国際化に対応できるプロジェクト研究を拡充する。	1 ②
4) 「研究指導」科目を平成26年度から設置し、論文指導のみならず、受講指導を含めた指導教員・副指導教員による複数教員による開設科目とする。	1 ①

専攻ディプロマ・ポリシー	対応する研究科DP
1) 高度な専門的な知識をもとに経済・社会を体系的に分析できる能力を習得している。	1
2) 明確な問題意識を発見する能力を有している。	1
3) 実証分析のために、的確なフィールドワークやリサーチワークができる能力、または、社会科学の諸理論を応用し、発展できる能力を備えている。	1
4) 研究で得られた知見により、地域社会ならびに、国際社会にも貢献することを証明できる。	2

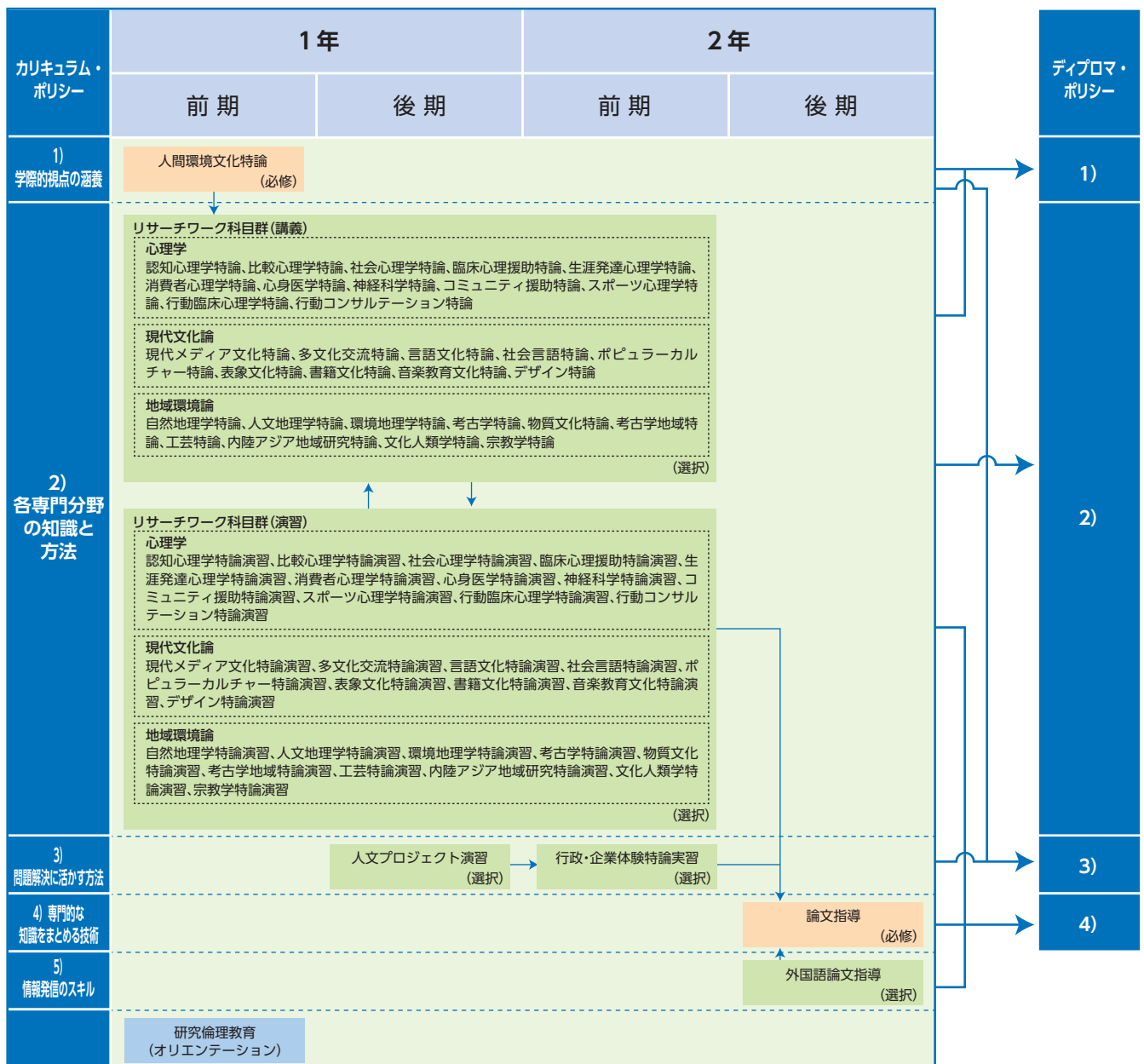
カリキュラム・マップ



専攻カリキュラム・ポリシー	対応する研究科CP
1) 学際的視点の涵養を目的とするコースワーク科目 (人間環境文化論特論) を必修として設置する。	1①
2) 心理学・現代文化論・地理学・考古学・基層文化論等の各専門分野の知識と方法を学ぶため、それに対応する授業科目としてリサーチワーク科目群を設置する。	1①
3) 上記の専門的な知識を問題解決に活かす方法を学ぶためのプロジェクト科目 (人文プロジェクト演習) を設置する。	1②
4) 上記の専門的な知識を個別の問題に即して展開しまとめる技術を取得するための論文指導を必修科目として設置し、修士論文の作成を課す。	1①
5) 情報発信のスキルを習得するための外国語論文指導をおこなう科目を設置する。	1②

専攻ディプロマ・ポリシー	対応する研究科DP
1) 自然、文化、歴史的環境、人間の行動についての専門的な知識を習得している。	1
2) 専門的な知識を活かした研究を、実践的な方法によって進める能力を備えている。	2
3) コースワーク科目の履修を通して養われた学際的視点に立って、専門的な知識をより広い文脈の中に位置づける能力を備えている。	1
4) リサーチワーク科目群及び修士論文作成の過程での履修を通して養われた専門的知識と方法を、現実的な問題の発見及びその解決に活かす能力と、それを体系的にまとめ、発信する能力を備えている。	2

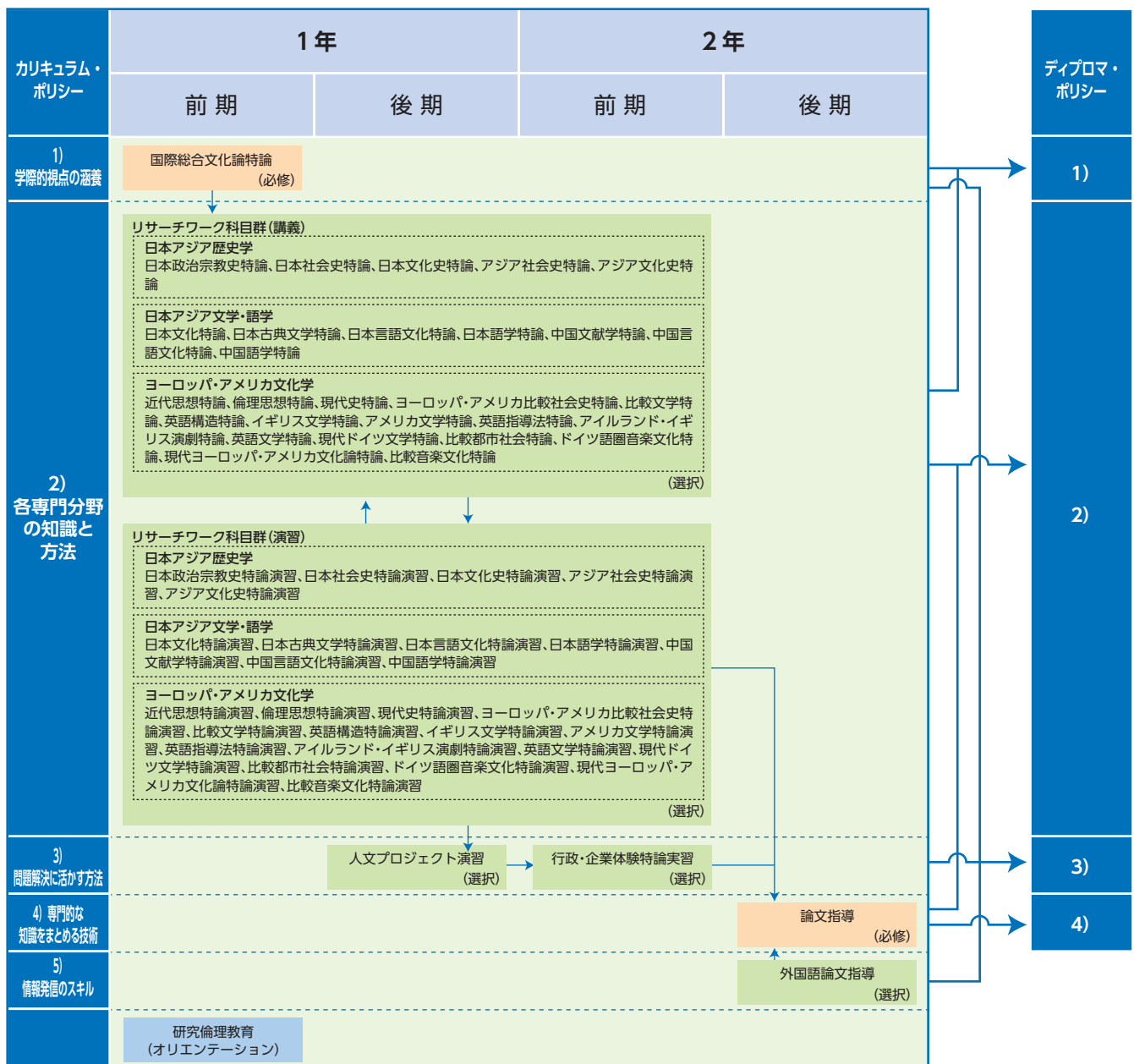
カリキュラム・マップ



専攻カリキュラム・ポリシー	対応する研究科CP
1) 学際的視点の涵養を目的とするコースワーク科目（国際総合文化論特論）を必修として設置する。	1①
2) 史学・文学・言語学・哲学に関する専門的な知識と方法を体系的に学ぶためのリサーチワーク科目群を設置する。	1①
3) 上記の専門的な知識を問題解決に活かす方法を学ぶためのプロジェクト科目（人文プロジェクト演習）を設置する。	1②
4) 上記の専門的な知識を個別の問題に即して展開しまとめる技術を習得するための論文指導を必修科目として設置し、修士論文の作成を課す。	1①
5) 情報発信のスキルを習得するための外国語論文指導をおこなう科目を設置する。	1②

専攻ディプロマ・ポリシー	対応する研究科DP
1) 日本および世界の諸文化についての専門的な知識を体系的に習得している。	1
2) コースワーク科目の履修を通して養われた学際的視点に立って、日本及び世界の諸文化についての専門的な知識をより広い文脈の中に位置づけ、今日の社会と文化の国際化に適切に対応できる能力を備えている。	2
3) リサーチワーク科目群の履修を通して養われた専門的な知識を体系的にまとめ、国際的な視野から国内外へ発信する能力を備えている。	1
4) 本専攻及び修士論文作成の過程で習得した専門的な知識を現実的な問題の発見及びその解決に活かし、社会に貢献する能力を備えている。	2

カリキュラム・マップ



専攻カリキュラム・ポリシー	対応する研究科CP
1) 地域経営・地域政策的視点を身につけたリーダー、地域文化の中核的な担い手や島嶼地域の諸問題に対処できる人材を養成するための必修科目を開設する。	1②
2) 地域の諸問題についての解決方法を学修するための「プロジェクト型」授業科目を開設し、研究成果の発表の場として、年1回の公開報告会を開催する。	1②
3) 職業を有する社会人を積極的に受け入れるために、夜間主大学院の制度を取る。	1②
4) 学位請求論文の質的向上をはかるために、指導教員を中心とした複数指導体制を取る。	1①

専攻ディプロマ・ポリシー	対応する研究科DP
1) 研究者として自立して研究活動を行うに足る研究能力及びその基礎となる豊かな学識を身につけている。	1
2) 専門家として地域の抱える社会的・文化的問題を発見し、解決する能力及び既存の学問分野の枠組みを超えた広い視野からこれらの問題に取り組み解決する能力を身につけている。	2

カリキュラム・マップ

